

2017年度 教育課程編成・実施の方針に照らした学修への取組の適切性に関する検証

FD委員会

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。
 学科の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究 科専攻	検証の結果
保健 看護 学科	<p>2017年度保健看護学科 学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針) 報告書</p> <p>1. 学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針)振り返り</p> <p>1. 各学年の分析対象数は、1年生が72名(88.9%)、2年生が53名(63.1%)、3年生が38名(52.7%)、4年生が36名(45%)であった。</p> <p>2. 全学年を通して高得点の項目は、臨地実習(臨地実習は何故行うか知っている)(3.6)、協力・協働(グループワークや実習などで他メンバーや教員、指導者と良好な関係を築くことができる)(3.5)、授業方法の種類(科目の授業方法には講義、演習、実習があることを知っている)(3.5)、協力・協働(3.5)であった。低得点の項目は教育目標(保健看護学科の教育目標を知っている)(2.4)、社会貢献(ボランティアなどを行っている)(2.5)、予習・復習(授業の前後に予習や復習に取り組んでいる)(2.8)であった(図2)。</p> <p>3. 5段階評価の平均2.5以下の項目は、教育目標(保健看護学科の教育目標を知っている)(2.4)、社会貢献(ボランティアなどを行っている)(2.5)の2項目であった(図2)。教育目標については、在校生ガイダンスなどで毎年周知し、確認していく必要がある。</p> <p>4. 全体的に1年生は2年生より高い項目が多い傾向が見られた。項目では、教育目標、予習・復習、レポート作成、協力・協働、社会貢献、生涯学習の6項目であった。これらについては、在校生ガイダンスなどで現2年生に周知し、啓発していくことが求められる。カリキュラム編成(専門基礎科目から専門基幹科目まで看護について系統的・段階的に学ぶことができる)、資格取得(資格取得のための科目が分かり、卒業のための履修科目を履修している)については1年生が低く、学年が上がるにつれて高くなっていった(図2)。</p>

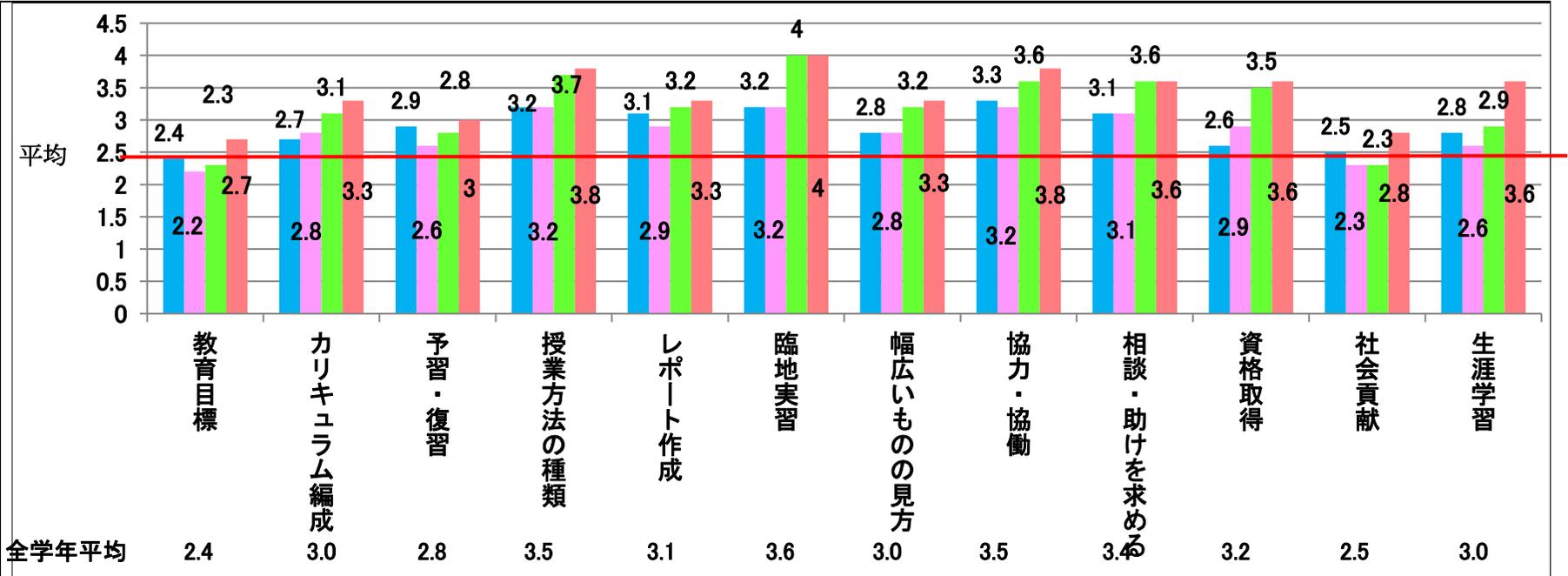


図2. 学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針)